

第14回 熊本県シニア0-50サッカーリーグ 大会要項

-
1. 選手資格 50代の選手は1972年（昭和47年）4月1日以前に生まれた者とし、(公財)日本サッカー協会に登録した者とする。
-
2. 参加チーム 当面の間、2～3チームの合同チームも可とし、正式なチーム登録は行わない。但し、チーム名は付けるものとする。
-
3. 監督 監督は、公認指導者資格を有する者が望ましいが、当面は資格にこだわらない。
-
4. 試合方法
- ① 各パート1回戦総当たり・順位決定戦とする。
 - ② 試合時間は20分ハーフ・ハーフタイム5分とする。
 - ③ 競技規則は、2020年度日本サッカー協会規則及び本大会の特別ルールによるものとする。
 - ④ 選手交代は主審に報告し、何名でも可。再出場も可。
 - ⑤ 7名以上で試合成立とし、得点等はそのまま成立する。
 - ⑥ 人数不足（棄権）で、試合が成立しなかった場合、相手チームの勝ち（5-0）とする。棄権の場合、最終順位は最下位となる。
 - ⑦ 順位決定について、勝者には勝点3点、引き分け1点、敗者には0点を与え、勝点の多い順に決定する。ただし、勝点合計が同点の場合は以下の順序により決定する。
 - (a) 得失点差
 - (b) 総得点
 - (c) 該当チームの対戦成績
 - ⑧ 試合の運営は、試合当日の当番チームによって行う。
-
5. ユニフォーム ユニフォームについては、正副2色（ゲームシャツ、ゲームパンツ、ストッキング、GK用共）を用意する。
-
6. 懲戒の罰則
- ① レッドカードを受けた時は、次の1試合には出場できない。
 - ② イエローカードが累積3枚以上になったときは、次の1試合に出場できない。
 - ③ その他の懲罰については、0-50リーグ委員会で協議の上決定する。
 - ④ 決定事項については、速やかに各チーム代表者に伝える。
-

-
7. 審判
- ① 審判は割当制とし、各チーム審判責任者のもと、審判服を着用し、主審は有資格者が、副審については原則として有資格者が行う。
 - ② 1試合 3,500円の審判手当（主1,500円、副1,000円×2）を支払う。
 - ③ 試合結果は、記録当番チームに報告する。レッドカード及びイエローカードを審判が使用した場合は、記録当番チームはリーグ委員会に報告する。
 - ④ 総括責任者は連盟審判委員長とする。
-

8. 参加資格 熊本市シニアサッカーチーム参加料を徴収する。

9. 表彰 優勝チームに、優勝杯を贈る。

10. 競技結果 (一社) 熊本市サッカー協会及び熊本市日新聞社運動部へ報告する。

※会場当番の仕事

1. 会場当番チームの責任者は、試合開始1時間前までに会場にくること。
2. 会場当番チームの責任者は、試合結果の記録（全試合）をする。
3. 会場当番チームの責任者は、メンバー表（1部）を試合開始30分前に集める。
4. 会場当番チームの責任者は、試合結果、得点者及び警告等を当日中に報告すること。
報告先 FAX.096-382-9788 または メール:lanza@gem.bbiq.jp 白井まで
5. 会場当番チームの責任者は、会場の片付け・清掃等の確認をする。

※会場準備及び片付け

1. 会場の準備・設営は、第1試合の2チームで設営し、試合開始30分前には設営完了すること。
2. 会場の片付けは、最後の試合の2チームで、ゴールの移動・ベンチ周辺の清掃等、責任をもって行うものとする。

ベンチやピッチ周辺での喫煙は厳禁です！

車の駐車（チーム名をフロントガラスに表示）についてもルールを守り、迷惑をかけないようにしましょう！

グラウンド内へ お子様やペットが入らないようにご注意願います！
